



2021年度 第17期 事業報告書
2021年3月14日総会承認

特定非営利活動法人フリー・サ・ナルドレン・シャバン

〒157-0062東京都世田谷区南烏山6-6-5安藤ビル3F

TEL : 03-6321-8948

Email:info@ftcj.org

URL : <http://www.ftcj.org>

認定NPO法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン
2020年度事業報告（2020年1月1日～2020年12月31日まで）

I. 2020年度 事業を実施して

2020年は、新型コロナウイルスの感染拡大により、世界中が混乱に陥り、ウイルスとの闘いに終始する1年でした。その中で、それまで当たり前として受け止めていた生活様式が見直され、様々な社会課題が浮き彫りになりました。医療問題、経済格差、教育格差、環境問題、家庭内暴力、その他人権侵害など。ウイルスやそれらの社会課題は地球上の全人類にとって共通の問題として受け止められ、妙な連帯感が世界中の人々のなかに生まれたようになります。お互い大変な状況だけれども、ともに乗り越えよう、というメッセージが世界中でみられました。そこにはわずかな希望さえも感じました。

国際社会は、2030年までに目指すべき共通の目標として、SDGs（持続可能な開発目標）を2015年に定めました。17の分野での目標に向けて取り組んできましたが、コロナ感染拡大によりその歩みが後退するような状況が報告され始めています。2020年9月に発表されたユニセフとセーブ・ザ・チルドレンの共同分析によると、コロナウイルスの世界的流行により、教育、医療、住居、栄養、衛生にアクセスできないなど多様な貧困状態に陥る子どもたちが世界で約12億人まで急増していることが示されました。これは、低中所得国で貧困状態にある子どもたちの人数が15%増加した、あるいは、20年初頭の感染拡大以降、貧困下で暮らす子どもたちが1億5,000万人増えたことを意味するということでした。また、不安やストレスにより、児童虐待や家庭内暴力は世界中で増加傾向にあるとパートナー団体「プレダ基金」の代表カレン神父は警鐘を鳴らし、何らかの急務な対策を政府、民間ともに講じる必要があることを同時にコラムで執筆しています。

私たちフリー・ザ・チルドレン・ジャパン（FTCJ）も、ウイルス感染拡大の影響を受け、激動の年となりました。WE Dayの日本初開催の見送りから始まり、スタディツアーの中止や、ティク・アクション・キャンプの開催方法及びプログラム内容の見直しなどに迫られました。3月の外出自粛要請や4月の緊急事態宣言の発令により、オフィスでの勤務を控え、スタッフはできる限りリモートワークで業務をこなし、オンラインにて会議を行うなど新たな働きかたちに切り替えていきました。様々な変化は、必ずしも団体にとって悪い側面だけを与えるものではありませんでした。オンラインによる活動により、経費や時間の節約ができ、オンラインで実施する事業の可能性を体感でき、良い側面があることにも気づかされました。しかし、国際協力の現場に1年を通じて訪問できなかったことは設立以来初めてのことです、オンラインだけでは欲しい情報を得られにくく、実情が分かりにくいことを実感しました。改めて直接会うことや現場を訪問することで学べる大きさや貴重さを悟りました。

FTCJにとって、2020年一番大きなニュースとしては、25年間カナダで事業展開し、年間予算50億円以上の規模で国内外の子どもをエンパワーしてきた「WE」が解散すると決めたことでした。常に私たちの前を歩き、私たちをけん引し、歩むべき道を示してくれたWEの存在や、創設者のクレイグのメッセージには励まされました。今後そういうカナダとの関係が変化することに衝撃と悲しみでいっぱいになりました。今後カナダのWEは、2021年9月以降に新しく設立される寄贈基金に事業が引き継がれ、国際協力とカナダ国内の子どものウェルビーイングに向けた学校対象のプログラム活動などを縮小して取り組んでいくことが発表されました。FTCJとしては今後も新しくなる基金や、アメリカのWEと連携しながら活動を継続していくことを、カナダの今までの活動への敬意と感謝を表すとともに、想いを新たにしています。

2020年はコロナ感染拡大の影響で、新規雇用ができるかどうかの判断が難しい局面もありましたが、出前授業やリーダーシップトレーニング活動を中心にWE Movement事業全体を担う専従スタッフの必要性を強く感じ、5月から広瀬太智さんを迎えることができました。ただ、緊急事態宣言中ということで、リモートワークが続き、なかなかオフィスで一緒に働くという機会が持てずオンラインでの新たな働き方の中でどうチームとして関係を構築するのかという課題をともに分かち合うこととなりました。新たに誰かと出会う機会が限られた2020年でしたが、そんな中でもFTCJと新しく連携くださった企業、団体、個人の方々の存在には大変励まされました。例えば、コロナの影響で収入が激減してしまったフィリピン視覚障害マッサージ師を応援するクラウドファンディングでは、たくさんの方々からご寄付を頂き、目標金額を達成したこと、活動を行うことができました。また、緊急支援としてコロナ禍で経済的な問題に直面する子どものいる家庭をFTCJとして応援したいと考え、J-coin基金から助成を受けられたことで、国内の子どもへのお弁当配布事業を理事の永野恵理さんが運営する千葉にあるカフェと連携しスタートしました。大東建託グループみらい基金の皆さんには5つの事業に対して助成をいただき、コロナ禍で困難に直面する国内外の子どもへの支援活動や教材開発、啓発活動などに取り組むことができました。ご協力下さった方々全てをここでご紹介することができず心苦しいのですが、皆さんそれぞれ大変な状況のなかでも、FTCJの活動にご支援ご協力をいただき、大変嬉しかったです。この場を借りて心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

代表理事 中島早苗

2020年度 事業活動報告

I) 子ども主体事業

◆事業の目的と役割 ・ 活動内容

子ども達が自ら世界の子どもの権利を守るために、主体的に活動する機会提供

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
FTCJアンバサダー (旧子ども代表委員)	<p>2020年から下記の3つを子どもアンバサダーの役割として設定し、子どもメンバーに公募した。</p> <p>①子どもファシリテーターとなり子どもメンバーミートアップを開催し、全国の子どもメンバーの声を聞き、子どもメンバー同士を繋ぐ</p> <p>②積極的に、自らのアクションを実施し、その様子を記事にして発信する</p> <p>③子どもメンバーの代表として団体の総会に議決権をもって参加する。団体運営について意見のある場合は、事務局に提言を行う。</p> <p>1月 weunion day で6名のアンバサダーがファシリテーターを担当</p> <p>4月 ミニコミ誌たんぽぽから執筆依頼があり3名が執筆</p> <p>8月 新年度アンバサダー募集開始</p> <p>9月 新アンバサダー14人が就任</p> <p>10月17日（土） 18:30～20:00第1回ミートアップを開催 17名参加</p> <p>10月25日（日） 13:00～15:00 勉強会① ファシリテーター講座</p> <p>10月31日（土） 18:30～20:30 勉強会② ファシリテーター講座&企画会議</p> <p>11月8日（日） 13:00～15:00第2回ミートアップ開催 16名参加</p> <p>現メンバーで2021年9月まで活動予定</p>	通年	全国	16人	885

2) 子ども活動応援事業

◆事業の目的と役割・活動内容

1. 国内の子どもが、世界の開発途上国でみられる児童労働など苛酷な状況に置かれている子どもの現状を学び、問題を解決するための支援活動の企画・実行を主体的に行えるように育成する。
2. 子ども達が自ら世界の子どもの権利を守るため、主体的に活動する機会を提供し、その活動をサポートする。

【活動ご協力のご紹介】

- ◆助成協力：子どもゆめ基金、日本労働組合総連合会 愛のかんば（テイク・アクション・キャンプ・ジャパン）
大東建託みらい基金(スカラシップ、メンバー活動)

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
子ども活動家育成	<p>▼Take Action Camp Japanの企画実施 日本にいる子ども若者が社会問題を知り、その解決に向けて自らアクションを起こし、より良い世界のために活動するためのノウハウを学ぶ場を提供した。例年、合宿形式で実施していたが新型コロナウイルスの影響を受け、合宿は中止しオンライン形式で実施した。 春：中止 夏：5日間プログラムを1部、2部にわけて実施。 1部8/14-16 37人 2部 8/22-23 36人 冬：3日間プログラムを実施 12/27-29 28人参加</p> <p>▼グローバルチャレンジプログラムの実施 EFと共同で行っている本プログラムは新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、全てのプログラムが中止となった。</p>	夏1部 8/14-16 夏2部 8/22-23 冬 12/27-29	オンライン (ZOOM)	夏1部37人 夏2部36人 冬28人	3889
メンバー活動サポート	<p>メンバー登録をした子ども達へイベントや活動の情報をお定期的に流したり、電話やメールでの対応を通じて子どもメンバーが主体的に活動できるようサポートを実施。 例年行っていたウェルカムデー等はコロナウイルスの影響を受け、中止。 ▼WeunionDayの実施 1月12日 同窓会イベントWeunionDay2020を実施し41名が参加した。</p> <p>大東建託グループみらい基金による支援により、子ども・ユースメンバーからソーシャルアクションプロジェクト企画を募り、選考し、選ばれたプロジェクトの実施のサポートを行った。12件の募集があり、9件（総勢59人）が支援プロジェクトとして採用。9グループ中、8グループは1回目のイベントを12月までに実施し、これまでに11回のイベントおよび1回のアンケート（キャンペーン）が行われ、それらにのべ約200人が参加した。</p>	通年	主に事務所	全国のメンバー 1,500人	354
スタディーツアー	新型コロナウイルスの影響を受け、予定していたすべてのツアーが中止とした。	8月～12月	オンライン およびオンライン	200	1560

3) 外部ネットワーク

◆事業の目的と役割・活動内容

様々なセクター、組織とつながってネットワークを構築、協働しFTCJのビジョン、ゴールを実現することを目指す。

<2020年度参加・構築したネットワーク>

・JNNE（教育協力NGOネットワーク）：開発途上国への教育支援を行っているNGOによるネットワーク。登録団体間での情報交換、勉強会を実施、外務省との意見交換や政策提言などを行っている。世界の全ての子どもへの良質な基礎教育提供を目指し世界のEFA（万人のための教育）運動とつながって国内でのアドボカシーや政策提言などのキャンペーン活動をしている。

・児童労働ネットワーク（CLネット）：児童労働の廃絶に向け、勉強会、キャンペーンなどを行っています。児童労働問題に取り組むNGO、労働組合、その他非営利組織、個人で構成されており、FTCJは運営委員団体として参加。

・広げよう！子どもの権利条約キャンペーン：2019年4月から3年間の期間予定で始まった子どもの権利条約を伝え広めるためのネットワーク・キャンペーン。FTCJは実行委員として参加している。

・フェアトレードタウン世田谷推進委員会：世田谷をフェアトレードタウン認定するために設置されたネットワーク。

・その他非営利組織への会員登録や他団体との協力

より良い事業運営のためJANIC（国際協力NGOセンター）、関西NGO協議会などのネットワークに参加した。

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
JNNE／SDG4教育キャンペーン（旧：世界一大きな授業）	「SDG4教育キャンペーン2020」が、2020年4月1日（水）～5月31日（日）に行われた。 キャンペーンに先立ち2020年2月～3月にかけ、8政党にSDG4（教育目標）に関するアンケートを実施し、その結果を受けてのキャンペーン期間中にオンライン投票を実施した、全国から2,559名の子ども・ユース・市民が参加し、日本の教育と教育援助に関する多くの提言が寄せられた。 これを受け、7月～11月には、14名の子ども・ユース代表が各政党の国会議員および関係省庁の担当者と面談し、提言活動を行った。	2月～11月	全国	2559名	305
CLネット	2020年6月1日～6月20日にかけて「ストップ！児童労働キャンペーン2020」を開催。2020年はこれまで行なってきた参加型アクションのレッドカードアクションをオンライン上で広げてもらうため、「おうちでレッドカードアクション」と称し、参加を呼びかけた。参加ツールとして、①ウェブ会議等で活用できるレッドカードつきバーチャル背景、②Facebookのプロフィール写真用フレームを作成し、参加者自身が児童労働の問題を伝えることができる気軽なツールを用意し、SNSを通じて広く呼びかけた。団体独自には6月12日にオンラインイベントを実施した。 6月12日（金）「児童労働反対世界デーにみんなでアクションを起こそう！」 ①16:00～17:00 17人 ②17:30～18:30 17人	6月	全国	1000人	213
CRCネット（広げよう！子どもの権利条約キャンペーン）	国連子どもの権利条約制定30年の節目の2019年に子どもの権利保障を目指しNGOでネットワークを設立。FTCJは実行委員として関与している。賛同団体は全国に100団体以上ある。子どもの権利に関する政策提言活動や、権利を学び活かすためのフォーラムの開催などに取り組んだ。子どもメンバーから「子ども基本法」につながる提言案に対する意見を集め、政策提言案活動を行った。	4月～12月	全国	2000人	530
フェアトレードタウン世田谷推進委員会	世田谷をフェアトレードタウンとして認定されるよう世田谷区民及び世田谷区にある団体など組織で構成しネットワークを構築。セミナーや勉強会、啓発活動、世田谷区のイベントへの出展などに取り組んだ。	通年	世田谷区	10000人	50

4) アドボカシー事業

◆事業の目的と役割・活動内容

目的：社会問題や権利を奪われた子どもの現状、課題解決について様々な方法で多くの人に伝え、問題解決につなげる。

内容：

- 1) 出前授業・講演会・ワークショップ：94回実施（オンライン形式・動画上映含む）参加・対象人数：11,223人
- 2) 教材開発・出版（WE教育プログラム・キャンペーンキット開発）
- 3) 物販（フェアトレードチーム）
- 4) 問合せ及び事務所訪問対応
- 5) ニュースレター・メールマガジン発行、ホームページ構築・更新
【活動ご協力のご紹介】

◆助成協力：公文財団、大東建託グループみらい基金

出前授業・講演会・ワークショップ及びイベント実施活動

日時	講演先（学校・企業・団体名）	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	講演テーマ内容
2020/1/11	世田谷区立桜丘中学校	東京	204	世界の貧困・児童労働
2020/1/22	松原市立松原中学校	大阪	158	世界の貧困・児童労働
2020/1/23	Panasonic 組織基盤強化フォーラム	東京	80	団体説明
2020/1/25	社会貢献教育ファシリテータースキルアップ研修	東京	12	団体説明
2020/1/31	江戸川区立大杉第二小学校	東京	40	世界の貧困・児童労働
2020/2/5	渋谷区小学校PTA連合会	東京	30	団体紹介・子どものアクションについて
2020/2/6	世田谷区中学校校長会	東京	50	団体紹介・子どものアクションについて
2020/2/7	渋谷区中学校PTA連合会	東京	30	団体紹介・子どものアクションについて
2020/2/12	世田谷区長学校校長会	東京	70	団体紹介・子どものアクションについて
2020/2/14	関東学院六浦中学校	神奈川	120	世界の格差・児童労働
2020/2/14	国分寺市立第二中学校	東京	100	世界の格差・児童労働
2020/2/16	世田谷区に子どもの声を届けよう！	東京	50	子どもの権利やアクションについて
2020/2/16	ユースアンバサダー企画ワークショップ	東京	20	性的マイノリティについて考える
2020/5/11	鳥取城北高等学校（1年）	鳥取県	70	社会問題を知ること・今からできるアクション
2020/5/15	（株）ボーダレス・ジャパン (ハチドリTALKs vol.8)	オンライン	250	団体説明
2020/5/28	神戸女学院大学	兵庫県	120	世界の貧困・児童労働
2020/6/16	桐蔭横浜大学	神奈川県	100	団体説明
2020/6/25	（株）ボーダレス・ジャパン (ハチドリ電力オンラインイベント)	オンライン	50	団体説明
2020/6/29	鳥取城北高等学校	鳥取県	25	SDGs・アクションの起こし方
2020/7/7	横浜市立みなと総合高校	神奈川県	240	世界の貧困・児童労働・キャリア
2020/7/8	武蔵野市立境南小学校	東京	35	共生社会に関して
2020/7/16	世田谷区立烏山小学校（5年）	東京都	90	世界の格差・児童労働
2020/7/22	世田谷区立烏山小学校（6年）	東京都	93	世界の現状・アクションを考える
2020/8月中	愛知県教員組合	愛知県	1000	フィリピン支援事業
2020/8/3	吉祥女子高等学校	東京都	259	世界の格差・児童労働
2020/8/17	CRC講義	オンライン	80	子どもの権利
2020/8/21	市原中央高等学校	千葉県	15	世界の格差・児童労働
2020/8/28	鳥取城北高等学校（1年）	鳥取県	25	アクションプランニング
2020/8/28	鳥取城北高等学校（2年）	鳥取県	143	世界の状況・アクションを考える

日時	講演先（学校・企業・団体名）	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	講演テーマ内容
2020/8/29	(公社) 柏青年会議所	千葉県	25	児童労働・団体説明
2020/9/10	東京都立大泉桜高等学校（1年）	東京都	100	児童労働・団体説明
2020/9/14	世田谷区立烏山小学校（5年）	東京都	90	アクションを考える
2020/9/23	アセレシア湘南高等学校	神奈川県	150	世界の貧困・児童労働
2020/9/25	聖ヨゼフ学園高等学校	神奈川県	40	世界の貧困・児童労働
2020/9/26	世田谷区立桜丘中学校	東京都	215	SDGs・アクションの起こし方
2020/10/1	春日部女子高等学校(1年)	埼玉県	15	世界の貧困・児童労働
2020/10/7	桐朋小学校（4年）	東京都	72	世界の現状・SDGs
2020/10/14	桐朋小学校（4年）	東京都	72	世界の現状・SDGs
2020/10/14	大阪府立成城高等学校	大阪府	105	世界の貧困・児童労働
2020/10/15	神奈川県立有馬高等学校	神奈川県	317	世界の貧困・児童労働
2020/10/16	大阪府立成城高等学校	大阪府	105	世界の貧困・児童労働
2020/10/19	工学院大学附属高等学校	東京都	206	団体説明
2020/10/21	白百合大学	東京都	160	キャリア
2020/10/23	上智大学	東京都	122	子どもの権利
2020/10/24	ハロウィン×フードドライブ	東京都	78	食料問題
2020/10/24	世田谷区立桜丘中学校	東京都	215	アクションを考える
2020/10/24	One Young World Tokyo Caucus 2020	オンライン	300	平和構築
2020/11/5	東京都立大泉桜高等学校（1年）	東京都	100	世界の貧困・児童労働
2020/11/7	町田市立真光寺中学校	東京都	40	世界の貧困・児童労働
2020/11/9	栃木県立益子芳星高等学校	栃木県	145	世界の貧困・児童労働
2020/11/9	工学院大学附属高等学校	東京都	206	団体説明・アクションの起こし方
2020/11/10	東洋大学	東京都	100	世界の貧困・児童労働
2020/11/10	名古屋市立北高等学校	愛知県	46	世界の貧困・児童労働
2020/11/15	子どもの権利条約フォーラム分科会	オンライン	42	子どもの権利
2020/11/19	明治学院大学	東京都	79	世界の貧困・児童労働
2020/11/20	大河原町立大河原中学校	宮城県	212	世界の貧困・児童労働
2020/11/21	毎日メディアカフェ教育シンポジウム	オンライン	500	子どもの権利・教育問題
2020/11/24	拓殖大学	東京都	180	団体説明
2020/11/24	武庫之荘総合	兵庫県	22	世界の貧困・児童労働
2020/11/26	世田谷区立赤堤小学校	東京都	90	世界の現状・アクションの起こし方
2020/11/28	明治学院高等学校	東京都	31	世界の貧困
2020/12/1	鳥取県立鳥取西高等学校	鳥取県	20	世界の貧困・児童労働
2020/12/1	目黒区立油面小学校	東京都	85	世界の貧困・児童労働

日時	講演先（学校・企業・団体名）	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	講演テーマ内容	
2020/12/2	鳥取城北高等学校	鳥取県	25	キャリア	
2020/12/3	梅光学院中学校・高等学校	山口県	151	SDGs・団体説明・キャリア	
2020/12/4	日進市立日進西中学校	愛知県	880	SDGs・団体説明	
2020/12/7	東洋大学	東京都	110	子どもの権利・団体説明	
2020/12/8	(株) ポーダレス・ジャパン (ハチドリ報告会)	オンライン	50	事業報告	
2020/12/8	横浜県立緑ヶ丘高等学校	神奈川県	25	SDGs・団体説明・キャリア	
2020/12/9	武蔵大学	東京都	60	団体説明	
2020/12/11	名古屋市立名東高等学校	愛知	85	世界の貧困・児童労働	
2020/12/12	桜丘中・西郷前校長×FTCJトークイベント	オンライン	110	子どもの権利、教育問題	
2020/12/12	世田谷区立烏山小学校（6年）	東京都	93	学習のまとめ・発表	
2020/12/15	横浜市立大綱中学校	神奈川県	900	世界の貧困・団体説明	
2020/12/18	世田谷区立烏山小学校（5年）	東京都	90	スピーチ・傾聴スキル	
2020/12/20	ワン・ワールド・ユース・フェスティバル	オンライン	300	団体活動紹介	事業費 (千円)
2020年	WE Talk "SOCIAL" 14回	オンライン	500	社会問題と私たちにできること	3820

WE Schools ニュースレター・メルマガ発行、団体ホームページ更新作成、資料教材開発・出版、物販活動

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費 (千円)
教材開発 WE教育ブログ	アクションの輪を広げるための教職員向けの教材作成。4つのステップで学び、アクションを考え起こす。	通年	東京事務所	教職員・団体の責任者など 100人～	2530
WE Talk "SOCIAL"	国内緊急支援事業での実施後に、事業化。大学生メンバーが主体的に企画運営を行い11月より計4回実施	11,12月	全国	国内外の人々 延べ100人	100
イベント	12月12日に元桜丘中学校元校長西郷先生・メンバーと 自主イベント。	通年	全国	国内外の人々 約400人	100
ニュース レター・ アニュアルレ ポート発行	2019年アニュアルレポート発行 NL50号特集：東京グレートサンタラン、WEDay特集 NL51号特集：WEtalkSocial特集 NL52号特集：オンラインキャンプ	2月 2月 7月 11月	東京事務所	各号750部 印刷	400
メルマガ 発行	月に2回発行	通年	東京事務所	国内外の人々 約5,000人	300
ホームページ 更新・作成	webサイト随時更新：1日平均700人程度アクセスあり。 WEBサイトリニューアルに向けたページ作成等	通年	東京事務所	国内外の人々	540
資料改定・ 出版	学校・教員向け冊子の改定、ワークショップ教材の改訂。	通年	東京事務所	子ども、学校、一般	60
物販	フェアトレード商品や出版物の紹介、それに関する資料作成と仕入れ、販売など。	通年	東京事務所	子ども、一般	300

事務所訪問対応

日時	内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費 (千円)
2回	事務所訪問対応	通年	東京事務所	10人	30

5) Free The Childrenプログラム（自立支援事業・緊急支援事業）

◆事業の目的と役割・活動内容目的：貧困などが原因で権利を奪われ困っている開発途上国の子ども（特に支援地域のフィリピン、インド、ケニアなど）や国内の子どもの権利が守られ教育を受けられ自立できるよう支援。

内容：フィリピン、インド、ケニア、エクアドルなどの開発途上国及び国内の子どもが貧困や差別から解放され自立できるよう包括的な支援事業を実施する。また、災害や紛争などによって被害を受けた地域への緊急復興支援事業を実施する。

海外事業

<フィリピン支援事業>

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
先住民族の子どもへの教育支援	手紙を通じて交流しながら子どもを支援する「文通プログラム」を通して集った資金とチョコプロの収益、その他寄付にてミンダナオ島の先住民族のキバラトン村に暮らす子どもたちが通う老朽化した幼稚園及び小学校の校舎を修繕するなどし教育環境を整える支援事業を実施したが、コロナにより建設工事が全くできず来年に修繕事業を持ち越して実施予定。	通年	フィリピン	子ども約60人	-
性虐待や刑務所から救出された子ども教育支援	指定寄付やフェアトレード商品の収益によって、フィリピン・ルソン島サンバレス州オロンガボに位置する現地パートナーNGOプレダ基金を通して、性的虐待・搾取を受けた少女や、路上や刑務所から救出された少年への教育、アエタ民族コミュニティへの自立支援活動の実施。	通年	フィリピン	子ども約200人、アエタ民族100人	200

<インド支援事業>

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
西ベンガル州CCDマクトニール養護施設運営事業	手紙を通じて交流しながら子どもを支援する「文通プログラム」を通して集った資金や助成金、その他寄付を使って、現地パートナー団体CCDを通じて、路上や児童労働などから救出され施設で生活する子どもと貧困家庭で暮らす子どもが学校に通え、栄養ある食事で健康に暮らせるよう事業。今年度はコロナの影響でロックダウンになつたことから、養護施設や学校の運営ができなくなり、事業実施を変更し、教育支援ではなく、食糧支援の実施に切り替えた。養護施設で子どもを保護することができなくなったことから、子どもを各家庭で育てられるよう支援をする形に変更して子どもの支援を行つた。	通年	インド	マクタニール擁護施設で生活する22人の子どもと貧困家庭の子ども10人	200
西ベンガル州ハロア開発地区子ども若者自立支援事業	西ベンガル州ハロア開発地区に暮らす貧困家庭の子どもや若者に対して、自立できるよう収入向上のための職業訓練セミナーを提供し教育支援を実施。また、虐待や児童婚などの課題から子どもを守るために、子どもの権利を伝える子ども若者グループを育成し、地域の子ども及びおとなが権利についての知識を得られるようアドボカシー活動を実施。（助成：大阪コミュニティ財団）	1月～3月	インド	西ベンガル州ハロア開発地区的子ども若者約80人	1600
ラジャスタン州貧困農村地域自立支援事業	ラジャスタン州ラジサマンド地方農村地域では、降雨量が少なく半乾燥地帯のため、またインフラ整備も進んでいないため、農作物の収穫が伸びず、村人は現金収入が少なく貧困から脱却が難しい状況にある。そこで現地パートナーWE Charityを通じて人々が貧困から抜け出し自立できるよう5つの柱（教育、水、保健衛生、生計維持、食糧農業）をたてて包括的に支援。今年は、コロナ感染を予防、治療するためロックダウン対象になった6つのコミュニティのおよそ5千人に対して、感染予防のための正しい知識の提供と必要な医療用品（マスク、石鹼、消毒液など）を提供了。（支援協力：大東建託グループみらい基金）	通年	インド	ラジサマンド地区コミュニティ5千人	300

<ケニア支援事業>

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
ケニア・保健医療支援事業	支援対象のケニアナロック群南ナロック県のマサイ民族やキクユ民族に対して、コロナ感染を予防・治療するための緊急支援を実施。マスクや石鹼、水を提供し、村びど、特に子どもや妊産婦への健康向上・維持のための保健医療支援を行つた。主な寄付は「東京グレートサンタラン」による収益など。	通年	ケニアナロック群南ナロック県バラカ病院及びエシノニ村	ケニアナロック群南ナロック県エシノニ村約1200人	200

<海外緊急・復興支援事業>

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
フィリピン・コロナ緊急支援	ルソン島サンパレス州スーピック市内のコロナ禍で収入を失った貧困家庭に向けた食料・生活用品物資緊急支援を実施。	4月～5月	スーピック市内	200人	200
フィリピン：コロナ視覚障害者緊急支援事業	コロナで収入を失った視覚障害者のマッサージ師100人を対象に、フィリピン盲人連合と協働し、ビジネス基礎研修を無料で提供。マッサージ師以外で収入を得られるよう彼らの自立を支援するための活動を実施。	9月～12月	フィリピン全土	100人	1500
エクアドル：コロナ緊急支援	コロナ感染拡大を受け、政府と連携し、地域が必要とするケアを受けられるように、様々な医療用品を医療施設へ物資寄付を行った。また、支援地域の5つの村を対象に感染予防のための健康セミナーの実施、きれいな水のアクセスができるようになった村での水道インフラ設置事業、食料安全保障のための農業研修や、苗木の配給を行った。（支援協力：大東建託グループみらい基金）	5月～9月	エクアドル	6000人	200
インド：コロナ緊急食糧支援	西ベンガル州でコロナやスーパーサイクロンによって影響を受け、収入が減少した貧困家庭に対し、食糧配給支援を行った。（支援協力：F.O.インターナショナル）	12月	インド西ベンガル州	350世帯	500

国内事業

<国内の子ども支援事業>

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
経済的困難を抱える子どもも支援（スカラシップ制度）	経済的な理由などでキャンプへの参加をあきらめざるを得ない子ども達を対象にキャンプに無料で参加できるよう支援した。毎年、宿泊型で実施をしている。社会問題とアクションを考えるリーダーシップキャンプは、新型コロナウイルスの影響により、初のオンライン開催となったが、夏休み・冬休みに実施し、両プログラムに小学校5年生～高校3年生の計74名が参加し、うち15人をスカラーシップ生として無料招待。希望者にパソコンとWIFIの貸し出し支援を行った。（支援協力：大東建託グループみらい基金）	9月～12月	オンライン	15人	500
ひとり親支援	ひとり親家庭の子どもに対して、文房具や生活用品、食品などの提供を実施（支援協力：マッキンゼン&コーエン）	4月～12月	関東圏及び大阪	2030世帯	300

<国内緊急・復興支援事業>

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
オーガニックお弁当提供活動	コロナ禍において経済的な困難を抱える家庭や生きづらさを感じる家庭及び何らかの障害のある子どもたちに対して、オーガニック食材による健康的なお弁当の提供を千葉県のオーガニックカフェEDENと協働して実施。（助成：J-Coin基金） ●市川市の子ども食堂3箇所 & 高校にて定時制高校生の夕食の給食代わり 合計800食 ●佐倉市の障害のある子どもの学童 50食 ●佐倉市の寺子屋オーガニックカフェEDEN 30食	8月～12月	千葉県	880人	1000
WE Talk "SOCIAL" 休校特別セミナー	学校機関の休校宣言を受け、4月末より無料オンライン講座としてWE Talk "SOCIAL"を計9回開催。海外ゲスト、FTCJスタッフをゲストスピーカーに迎え講義の実施、世界のことを知るワークショップ形式での実施など様々な形で行った。（支援協力：大東建託グループみらい基金）	4月 5月 6月	オンライン	全国400名	976

【助成・協賛・寄付協力】

大阪コミュニティ財団、J-Coin基金、大東建託グループみらい基金、F.O.インターナショナル、サックスバーホールディングス、東京グレートサンタラン、マッキンゼン&コーエン

6) WE Day事業

2007年にカナダ・トロントにて始まった子どもや若者の間で自主的な社会貢献活動を根付かせるためのライブイベントWE Dayの日本版を2020年3月に開催するために設置した事業。初開催を予定していたものの、新型コロナウイルスの情勢を受け、2月27日に開催取りやめを決定した。申し込み締め切りまでまだ10日ほど残した状態であったが、すでに700人を超える参加者が集まっており、21年に再招待することとした。

【コンセプト】誰かのためにアクションを起こした子どもや若者を招き、祝い、エンパワーする世界的ライブ・イベント

【イベント名】WE Day Community: Japan 2020

【日 時】2020年3月20日(金・祝) 午前及び午後 (前日より会場にて準備、リハーサル予定)

【会 場】LINE CUBE SHIBUYA (渋谷公会堂)

【対 象】SDGsの目標として掲げられている国内外の社会課題解決に向けて、ボランティア活動など何らかのアクションを起こした25歳以下の子どもや若者1,700人（小学生、中学生、高校生、大学生・院生など）

【目 的】

1. 参加者の子どもや若者が、多様な立場に置かれる人々や異なる価値観を理解し、一人ひとりが尊重されることの大切さを感じ、彼らの自己肯定感を高める。
2. 参加者の子どもや若者が、SDGsに紐づく国内外にある社会問題を知り、それらの問題と自分自身が繋がっていることに気づき、自分ができることを考え、行動できる素地を養えるようにする。
3. 参加者の子どもや若者が、自分が動くことでより良い変化を起こせると感じ、彼らの自己効力感を高める。

【参 加 費】無料

【プログラム】社会課題を解決するためのアクションを起こした子どもや若者を祝い、エンパワーメントする内容を予定

- ・社会活動家・著名人などによるスピーチ、パフォーマンス
- ・子どもや若者によるアクションによるインパクト（成果）の発表
- ・子どもや若者活動家（参加者）によるスピーチ、パフォーマンス
- ・今後のアクションのテーマの発表 など

【協 賛】株式会社パワープロジェクト、ECOALF

【協 力】一般社団法人OSAKAあかるクラブ、株式会社フロンティアインターナショナル、NPO法人iPledge、一般社団法人オール・ニッポン・レノベーション、Wake Up Japan

【後 援】東京都、渋谷区、世田谷区、渋谷区教育委員会、世田谷区教育委員会、カナダ大使館、国際協力機構（JICA）、日本YMCA同盟、ガールスカウト日本連盟、ボーイスカウト日本連盟、ユネスコ・アジア文化センター、ESD活動支援センター、関東地方ESD活動支援センター

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
WE Day Japan →Change Makers Fes	2020年3月20日に渋谷公会堂にて日本初のWE Dayを開催するための準備やアドボカシー活動を実施。事務局としてイベント事業を展開する(株) フロンティアにご協力頂き、舞台づくり、広報、タレントや出演者さんへのアプローチ、チケッティング準備など行った。また、フリー・ザ・チルドレン・ジャパンのメンバーによりWE Dayユースアンバサダーを募り、WE Dayを子ども若者に周知、盛り上げるための事前イベントの実施、募金活動などを展開した。しかし、新型コロナウイルス感染拡大により、2月末に延期を決定。開催直前の判断であったため、製作費や広報費が支出として発生した。イベント自体の開催はできなかった。ソーシャルアクションを行った子ども約800人の活動事例集を作成し、ウェブで紹介するなど行った。6月以降は、2021年度のイベント開催の話し合いを行い、カナダのWEの解散を受けて、イベント名を「Change Makers Fes」に変更することを決定し、準備を行った。	通年	東京	800人	2917

管理部

管理・その他、この法人の目的を達成するために必要な事業に関する報告

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	事業費(千円)
翻訳	事業の運営に関係する資料を日・英に翻訳。	通年	東京	30	25
研修受講	円滑な組織・事務局運営のため下記の助成を受け研修を受講 ・子どもの権利・トラウマを抱えた子どもや若者への対応について	通年	東京	10	50
個人情報管理	アクセスのデータを構築デザインし、メンバーや協力者などの個人情報を整理し管理を行った。	通年	東京	3	300
問い合わせ対応	メール、電話、FAX、郵送にて事務局に届く問合せや連絡に対応。対応例：事務所訪問、出張講演調整、教材や物販の注文、団体など組織からのアンケートへ返答、子ども、大学生、社会人からの質問返答、メンバー希望、団体への質問返答など	通年	東京	3	660
会計	組織の透明な会計のための団体に関する資金の流れを管理し帳簿を付けるなどの業務を実施。	通年	東京	2	2300
理事会運営・管理	事業を円滑に実施するための理事会の運営。	通年	東京	11	80
その他	事務所運営管理、什器管理など。	通年	東京	5	10

【活動のご協力】

◆助成協力：東京都 正規雇用等転換安定化支援助成金、NGOインターンプログラム、持続化給付金、家賃支援給付金

【事務局体制、役割報告】

原元望：事務局長

河本千夏：アドボカシー事業リーダー（3月より育休開始）

伊藤菜々美：子ども活動応援事業リーダー

板倉香子：会計・総務

広瀬太智：子ども活動応援事業スピーカー・ファシリテーター

鈴木洋一：子ども活動応援事業

鈴木悠仁子：子ども活動応援事業

清田健介：翻訳チーム、広報

【理事兼任】

中島早苗：海外自立支援事業・組織運営全般

出野恵子：子ども活動応援事業

伴野保志：個人情報管理システム構築

藤井裕子：関西での活動

【インターンご紹介】

2020年度は下記のインターンのみなさんが活動を支え担当の事業を担いました。（敬称略・順不同）

上條茜里：翻訳・キャンプファシリテーター・教材開発

中野真央：翻訳

石田瑠梨：翻訳・イベント運営、広報・キャンプファシリテーター

吉田凜：翻訳・イベント運営、広報・キャンプファシリテーター

紫藤聖也：広報・教材開発・クラウドファンディング運営・事務局運営・翻訳・ウェブサイト管理

メディア掲載一覧

2020年1月～12月にメディア等などで配信・紹介されたFTCJの活動です。

時期	メディア配信・媒体名	内容
通年	高校英語教科書UNICORN	FTCを創設したクレイグ少年の物語がレッスントピックとして掲載されています。
通年	高校英語教科書English Now !	FTCを創設したクレイグ少年の物語がレッスントピックとして掲載されています。
通年	中学生公民教科書	FTCを創設したクレイグ少年の物語がレッスントピックとして掲載されています。
通年	英語教科書 ONE WORLD	FTCを創設したクレイグ少年の物語がレッスントピックとして掲載されています。
2020/2/3	社会貢献団体ガイドブック2020年版	遺贈寄附先の団体の一つとして紹介されました。
2020/2/3	東京新聞（夕刊）	WE Day Community: Japan 2020（延期）について紹介されました。
2020/2/14	ガクセイ基地	WE Day Community: Japan 2020（延期）について紹介されました。
2020/5/1	たんぽぽ（松戸市民ネットワーク）	「おとなに言いたいこと」というコーナーでFTCJユースアンバサダー3名が執筆した原稿が掲載された。
2020/5/5	テレビ東京「未来の主役地球の子どもたち 2020スペシャル～世界を変える小さな戦士～」	世田谷区の母子手帳に子どもの権利条約を載せる活動が紹介されました。
2020/12/5	毎日新聞（夕刊）	11/21「毎日メディアカフェシンポジウム」が紹介されました。
2020/12/18	子どもの権利条約ネットワーク	11/14,15に開催された子ども権利条約フォーラムに於いて実施された分科会「子ども政策に求めるこ」について中島が執筆した報告書が掲載された。
2020/12/18	毎日新聞（朝刊）	12/12「桜丘中・西郷前校長×子ども×親×FTCJ トークイベント」が紹介されました。

7.会議の開催

(1) 総会

通常総会(2019年度)

(ア) 開催日時及び場所

2020年03月20日(火) 13時30分から15時00分まで

会場：フリー・ザ・チルドレン・ジャパンオフィス

住所 東京都東京都世田谷区南烏山6-6-5 3F

(イ) 議題

第1号議案

2019年度 事業報告書（案）と2019年度会計収支決算書（案）に関する事項

第2号議案

2020年度事業計画（案）と2020年度収支予算書（案）に関する事項

第3号議案

2020年度の役員（理事、監事）選任に関する事項

(a) 理事会役員の件につき、内容の説明を行い協議

(b) 事務局体制と顧問の紹介

(2) 理事会

第1回理事会

(ア) 開催日時及び場所

2020年10月4日 13:00～15:10 当法人事務所

(イ) 議題

I.審議事項

1. 2020年度事業中間決算の共有

2. WEカナダについて共有

3. 2021年 理事監事体制、及び事務局体制、事業計画案

4. 理事会の円滑のためのメッセージンググループの設置について

5. 次回理事会・総会開催について

II.報告事項

I.事務局より

20年はコロナ禍の影響もあり、メールやSNSでのやりとりを利用し、1回の理事会開催でした。